

平成20年3月18日

**「日本のICTインフラに関する国際比較評価レポート」の公表**

総務省では「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」ネットワークに簡単につながるユビキタスネット社会の実現のため、u-Japan 政策を推進しております。その政策目標である「2010年には世界最先端のICT国家として先導」を達成するためには、適時適切な政策評価をおこない、必要な見直しを行うことが重要です。そのため、今後のICTインフラ政策に資することを目的に本レポートを取りまとめましたので公表します。

総務省では、「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」つながるユビキタスネット社会の実現のため、u-Japan 政策を推し進めているところですが、その政策の目標として「2010年には世界最先端のICT国家として先導する」と定めており、その目標を達成するためには、適時適切な政策評価を行い、必要な見直しを行うことが重要であります。

現在、日本のブロードバンド環境については、利用料金、通信速度は世界最高水準と評価されています。しかし、ICTインフラ分野を総合的に評価するためには、包括的かつ客観的な基準のもとに評価することが重要となります。本レポートにおいては、“光ファイバー比率”や“3G携帯比率”の最先端技術の項目等も含めた6分野12項目について評価しました。日本は、総合評価で第1位となり、ICTインフラの利用料金、高速性の分野については、世界最先端レベルを維持していると評価できます。しかし、ICTインフラの普及度、社会基盤性については低調な結果となっています。これらの結果から、今後の課題としては、デジタル・デバイドの解消や、ICTインフラへの集中的な資源配分の必要性等が考えられます。

総務省としましては、本レポートをu-Japan 政策の目標の着実な達成及び今後のICT政策の推進に活用して参りたいと考えております。

(添付資料)

- 別添1 日本のICTインフラに関する国際比較評価レポート概要
- 別添2 日本のICTインフラに関する国際比較評価レポート (参考資料1、2)
- 別添3 日本のICTインフラに関する国際比較評価レポート別冊

(連絡先) 総務省情報通信政策局総合政策課

(担当: 今川調査官、小笹)

電話:(直通) 03-5253-5718

(FAX) 03-5253-5721

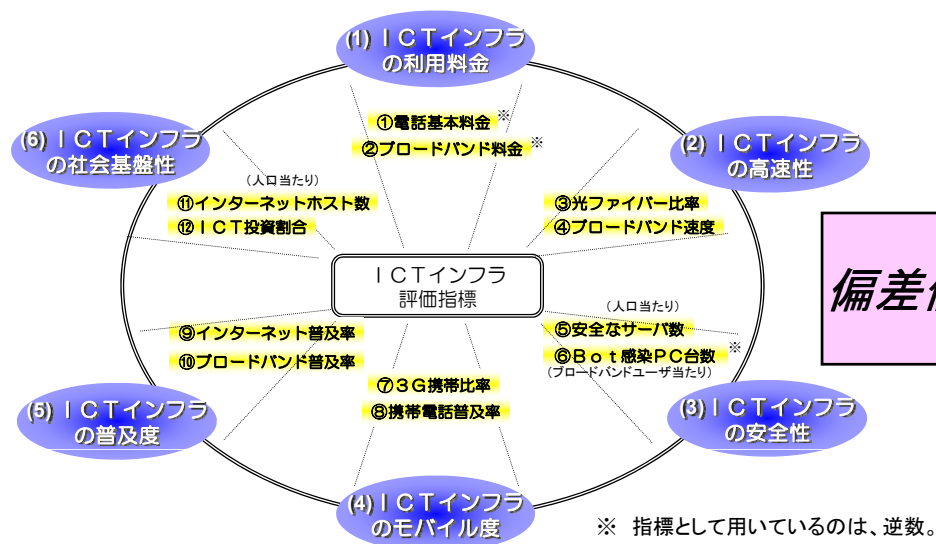
# 日本のICTインフラに関する 国際比較評価レポート概要

平成20年3月  
総務省

- ICTインフラに関する6分野12項目の指標を選定。主要23カ国・地域で国際比較。  
※前回(平成17年5月)の評価項目に加え、新たに光ファイバー比率、Bot感染PC台数の2つの指標を追加。
- 評価方法は次の通り。
  - 各指標のデータを偏差値化。(データは国際機関等が公表している定量データを使用。)
  - 総合評価として、各指標の偏差値平均による**国際ランキング**を作成。
  - 各国・地域の偏差値データを**レーダーチャート**にプロット。

## ICTインフラの評価指標 6分野12項目

(国際機関等が公表している定量データをできる限りバランス良く採用)



偏差値化

国際ランキング

各国・地域別  
レーダーチャート

### ◇ 評価対象(主要23カ国・地域)

アジア : 日本、韓国、中国、シンガポール、台湾、香港  
オセアニア: オーストラリア、ニュージーランド  
北欧 : フィンランド、オランダ、デンマーク、スウェーデン

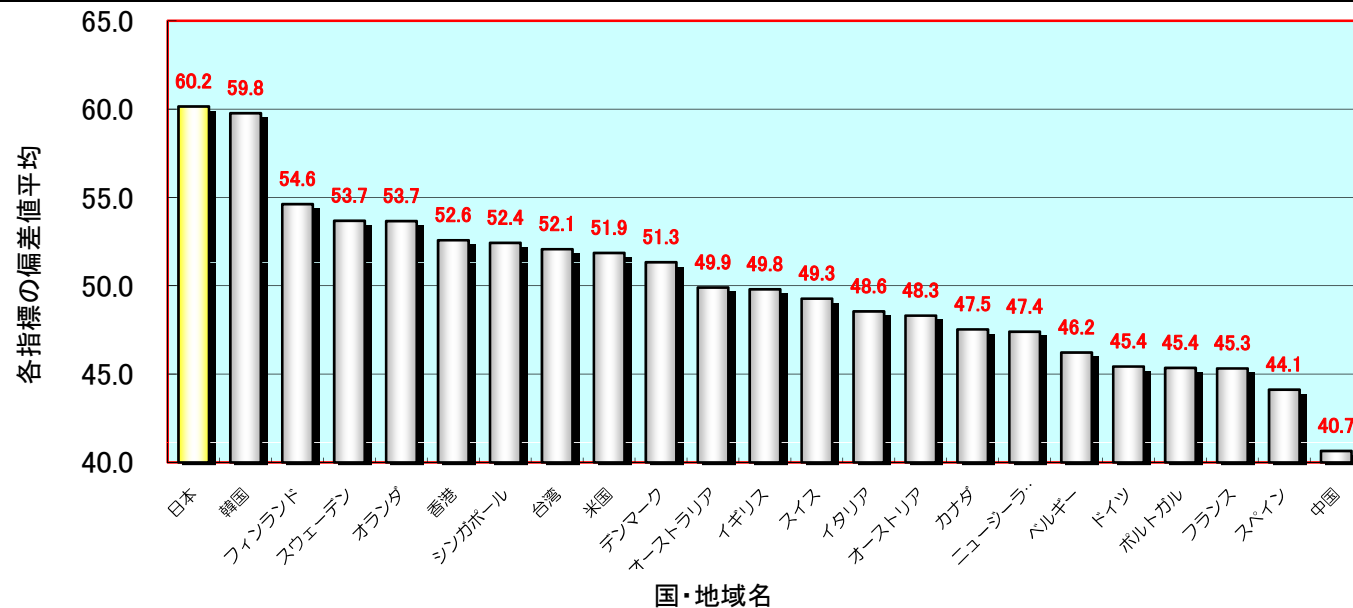
北米 : アメリカ、カナダ  
ヨーロッパ: スイス、フランス、ポルトガル、イギリス、ドイツ  
スペイン、ベルギー、イタリア、オーストリア

# 国際ランキングについて

- ◇ 日本は総合評価で23カ国・地域中 第1位。韓国が第2位に続き、日本を急追。
- ◇ 上位10カ国中にアジア、北欧が9カ国ランクイン。

## 【 国際ランキング 】

ランキング	国・地域名	偏差値平均	ランキング	国・地域名	偏差値平均
1	日本	60.2	13	スイス	49.3
2	韓国	59.8	14	イタリア	48.6
3	フィンランド	54.6	15	オーストリア	48.3
4	スウェーデン	53.7	16	カナダ	47.5
5	オランダ	53.7	17	ニュージーランド	47.4
6	香港	52.6	18	ベルギー	46.2
7	シンガポール	52.4	19	ドイツ	45.4
8	台湾	52.1	20	ポルトガル	45.4
9	米国	51.9	21	フランス	45.3
10	デンマーク	51.3	22	スペイン	44.1
11	オーストラリア	49.9	23	中国	40.7
12	イギリス	49.8			

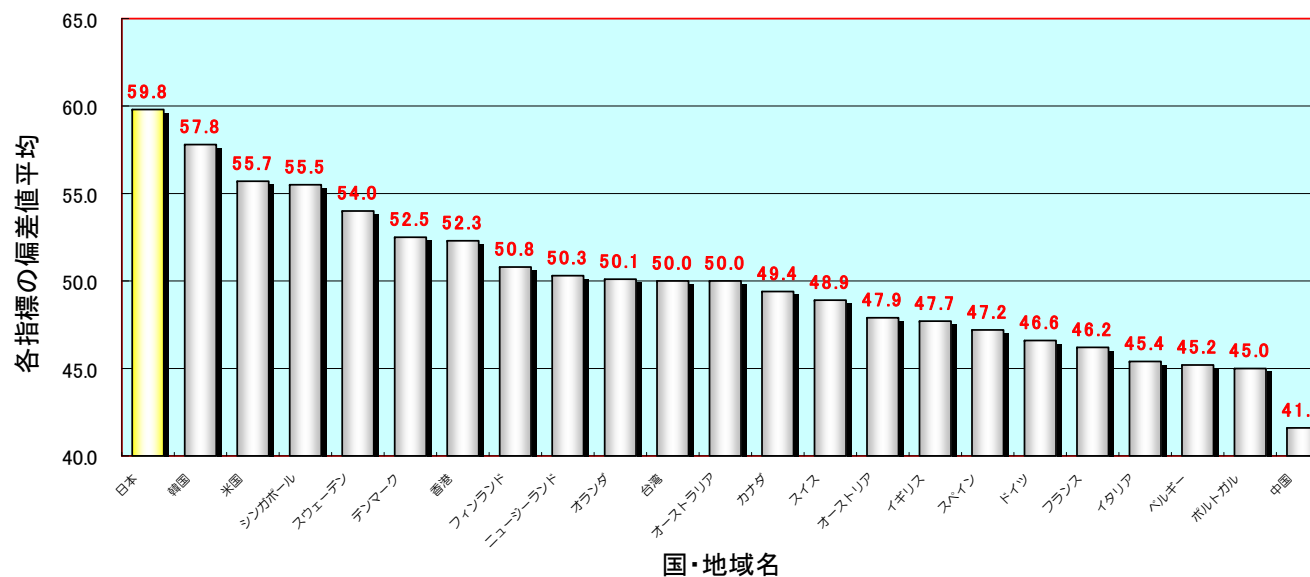


# (参考) 前回 (平成17年5月) の国際ランキングについて

- ◇ 日本は総合評価で23カ国・地域中 第1位。(偏差値平均59.8)
- ◇ 上位5カ国にアジア地域が3カ国ランクイン。(日本、韓国、シンガポール)

## 【 国際ランキング 】

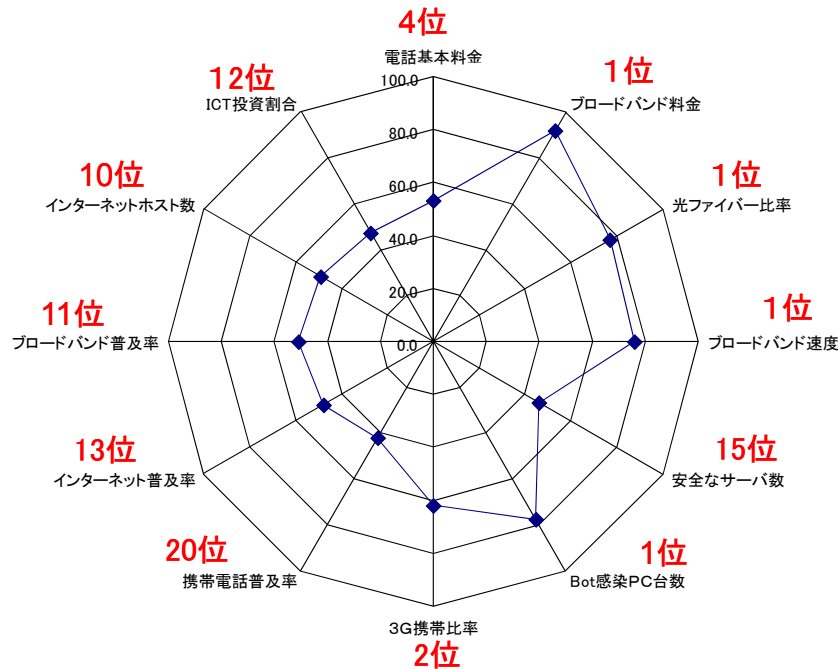
ランキング	国・地域名	偏差値平均	ランキング	国・地域名	偏差値平均
1	日本	59.8	13	カナダ	49.4
2	韓国	57.8	14	スイス	48.9
3	米国	55.7	15	オーストリア	47.9
4	シンガポール	55.5	16	イギリス	47.7
5	スウェーデン	54.0	17	スペイン	47.2
6	デンマーク	52.5	18	ドイツ	46.6
7	香港	52.3	19	フランス	46.2
8	フィンランド	50.8	20	イタリア	45.4
9	ニュージーランド	50.3	21	ベルギー	45.2
10	オランダ	50.1	22	ポルトガル	45.0
11	台湾	50.0	23	中国	41.6
12	オーストラリア	50.0			



# 日本の各指標の評価について

- ◇ ICTインフラの(1)利用料金、(2)高速性では引き続き世界最先端レベルを維持。
  - ・ ブロードバンドの料金、速度、光ファイバー比率、Bot感染PC台数は世界一。
  - ・ 高度なサービス(ブロードバンド、3G携帯)で世界を先導。
 →前回と同項目の調査についてはほぼ同様の結果となった。  
 また今回新たに追加した調査項目(光ファイバー比率、Bot感染PC台数)については世界1位であった。
- ◇ 一方、ICTインフラの(5)普及度、(6)社会基盤性は低調。
  - ・ 普及率は携帯電話、インターネット、ブロードバンドのいずれも全般的に低調。
  - ・ ICT投資割合やインターネットホスト数も低調であり、社会基盤としての優先度が低い。
 →前回調査時に比べ、全項目に関してランクを下げている。

## 【日本のレーダーチャート】



## 今後の課題

- ① 普及率の向上
  - 「u-Japan政策」や「次世代ブロードバンド構想2010」に基づくユビキタスネットワークの整備
  - 過疎地域等の地理的な制約に起因する情報格差(デジタル・ディバイド)解消の重点化
- ② 社会基盤としての優先度の向上
  - 情報化の進展を踏まえた社会資本整備や資源配分の抜本的な見直し

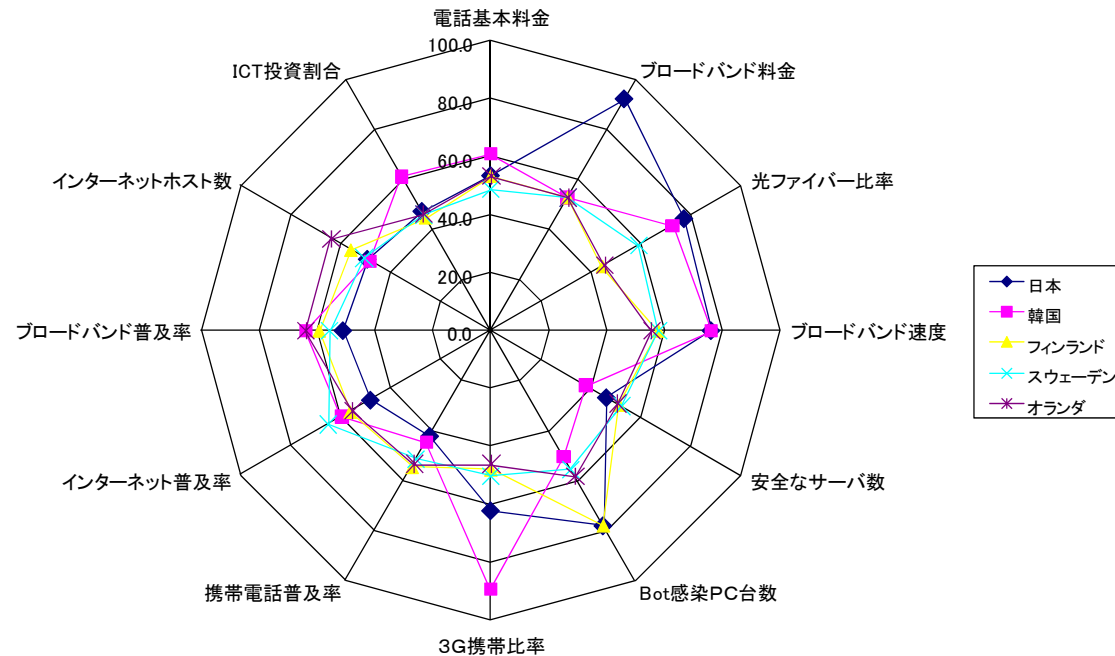
国名	電話基本料金	ブロードバンド料金	光ファイバー率	ブロードバンド速度	安全なサーバ数	Bot感染比率	3G携帯比率	携帯電話普及率	インターネット普及率	ブロードバンド普及率	インターネットホスト	ICT投資割合
日本	53.4	92.1	77.1	76.1	46.1	77.6	62.0	42.0	47.9	51.0	49.1	47.4
順位	4	1	1	1	15	1	2	20	13	11	10	12

# 国際ランキング上位5カ国について

◇ 上位5カ国の特徴は以下のとおり。世界最先端レベルの成果を挙げている分野は国によって異なる。

- ・ 韓国           ブロードバンド速度、3G携帯比率、ブロードバンド普及率で第1位。
- ・ フィンランド   Bot感染比率で第1位、ブロードバンド料金で第2位。
- ・ スウェーデン   ブロードバンド料金、インターネット普及率で第2位。
- ・ オランダ       ブロードバンド普及率で第1位、ブロードバンド料金、インターネットホスト数で第2位。

## 【 国際ランキング上位5カ国のレーダーチャート 】



国名	電話基本料金	ブロードバンド料金	光ファイバー比率	ブロードバンド速度	安全なサーバ数	Bot感染比率	3G携帯比率	携帯電話普及率	インターネット普及率	ブロードバンド普及率	インターネットホスト数	ICT投資割合
日本	53.4	92.1	77.1	76.1	46.1	77.6	62.0	42.0	47.9	51.0	49.1	47.4
韓国	61.0	53.1	72.5	76.1	37.9	50.2	89.2	44.6	59.4	63.9	48.0	61.4
フィンランド	53.4	53.1	44.4	57.7	51.1	77.6	47.9	54.3	56.0	59.2	55.7	45.0
スウェーデン	48.8	53.1	58.9	57.7	52.1	55.2	50.1	51.2	64.6	55.6	50.4	46.2
オランダ	53.4	53.1	45.3	55.4	50.4	58.0	46.0	53.1	55.1	63.9	63.7	46.6

# 日本のICTインフラに関する 国際比較評価レポート

～ 真の世界最先端ICTインフラ実現に向けての提言 ～

平成20年3月  
総務省



# 日本の ICT インフラに関する国際比較レポート

## － 目次 －

第 I 章 我が国の ICT インフラについて	1
1. 国家 IT 戦略における位置付け	1
2. u-Japan 政策の目標	1
3. 我が国の ICT インフラ整備の進捗状況	2
4. 本レポートの目的	3
第 II 章 評価方法について	4
1. 選定した評価指標	4
2. 評価対象の選定	5
3. 評価手法について	6
第 III 章 評価結果について	7
1. 日本の各指標の評価について	8
2. 国際ランキング上位5 カ国について	10
第 IV 章 総評と今後の課題	11

### (参考資料)

1. 評価に使用した各指標の説明
2. 各国・地域データ一覧

### (別冊)

- 各国・地域別データ概要

# 本レポートの要旨

## ● 本レポートの目的

2005年5月に「日本のICTインフラに関する国際比較評価レポート」を発表したが、約3年後となる現在において、世界の中における日本のICTインフラの現状を再評価する。ICTインフラを比較評価する上で、最近ではデータの大容量化が著しい点、また安心・安全に関する視点が厳しくなっていることから、ICTインフラの“質”に着眼し、新しい評価項目を加え、評価する。

本報告書は、これらの指標を用いた国際比較の評価を行うことでこれからの日本のICTインフラ政策に資することを目的とする。

## ● 評価方法

本レポートにおいては、6分野12項目の指標で主要23カ国・地域間で国際比較を実施。評価方法としては、データを偏差値化し、

◇ 総合評価として偏差値平均による国際ランキング

◇ 各国・地域の指標データに関するレーダーチャートによって評価を行った。

## ● 評価結果と今後の課題

日本は国際ランキングで23カ国・地域中第1位。

日本のレーダーチャートは右図のとおり。

◇ ICTインフラの(1)利用料金、(2)高速性、

では、世界最先端レベルの指標を維持。

- ・ ブロードバンドの速度、料金、光ファイバー比率、Bolt感染PC台数は世界一
- ・ 高度なサービスで世界を先導

◇ ICTインフラの(5)普及度、(6)社会基盤性は低調。

- ・ 普及率は携帯電話、インターネット、ブロードバンドのいずれも全般的に低調。
- ・ ICT投資割合やインターネットホスト数も低調であり、社会基盤としての優先度が低い。

< 今後の課題 >

### ① 普及率の向上

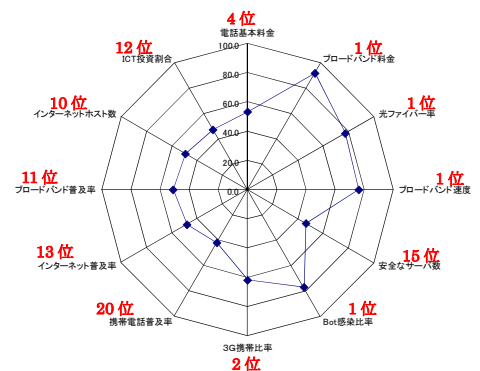
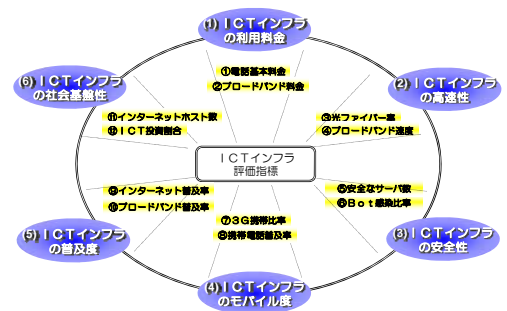
- 「u-Japan 政策」や「次世代ブロードバンド構想2010」に基づくユビキタスネットワークの整備
- 過疎地域等の地理的な制約に起因する情報格差(デジタル・ディバイド)解消へ向けた取り組み

### ② 社会基盤としての優先度の向上

- 情報化の進展を踏まえた社会資本整備や資源配分の見直し

ICTインフラの評価指標 6分野12項目

(国際機関等が公表している定量データできる限りバランス良く採用)



# 第 I 章 我が国の ICT インフラについて

## 1 . 国家 IT 戦略における位置付け

我が国では、2001年に高度情報通信ネットワーク社会の重点的かつ迅速な形成の推進を目的として、「IT基本法」が制定され、2005年までに世界最先端のIT国家を目指す「e-Japan戦略」が策定された。また、2003年には利活用促進に重心を置いた「e-Japan 戦略Ⅱ」が策定された。

総務省においては、情報革命の完成をめざす第二ステージとして、2010年までに「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」ICTの恩恵を実感できる社会を実現するため、2004年に「u-Japan 政策」を策定した。また更に2006年には、u-Japan 政策の総合的な推進を担保しつつ、重点的な取組分野を定めた「u-Japan 推進計画2006」を策定し、u-Japan 実現へ向けた取組の加速化を図った。

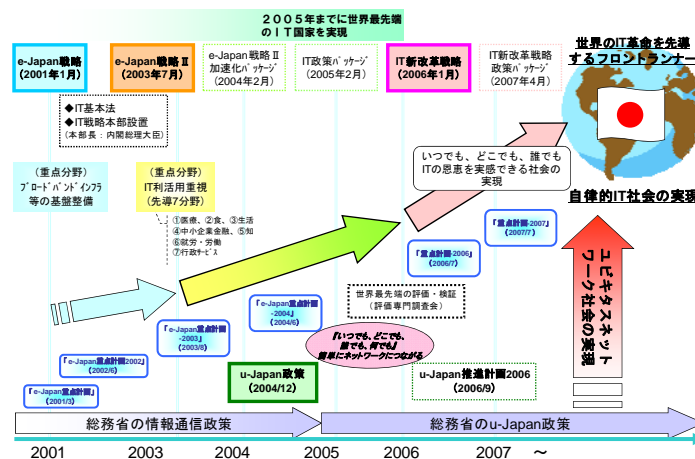


図1:我が国のIT戦略の歩み

## 2 . u-Japan 政策の目標

各戦略の大きな位置づけとして、e-Japan 戦略では、特にインフラ面に焦点を当て、「超高速ネットワークインフラ整備」としてナローバンドからブロードバンドへの移行を推進してきた。これに続く e-Japan 戦略Ⅱはインフラ面に関して、「次世代情報通信基盤の整備」としてブロードバンドの面的な拡大を図りつつも、利活用面に力点を大きくシフトし、先導的な取組を提示し、利活用の側面の重要性を明確にした。

u-Japan 政策では、創意ある利活用を通じて、生活や地域社会、市場・産業の活性化への実現へと繋げ、社会全体の「質」を高めていくことを目標にし、3つの軸を基本としている。第一は「ユビキタスネットワーク整備」で、「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」つながるユビキタ

ネットワークへの進化を目標にしている。第二は「ICT利活用高度化」で、ICTの利活用の高度化で様々な社会経済的な課題を解決することを目標にしている。第三は「利用環境整備」で、セキュリティ等の「影」の課題やこれから顕在化するであろう重要な課題への対応である。u-Japan 政策では、目標として「2010年には世界最先端のICT国家として先導する」と定めており、その目標を達成するためには、政策評価（PDCA）を行い、必要な見直しを行っていくことが重要となる。

### 3. 我が国の ICT インフラ整備の進捗状況

現在、我が国のブロードバンド整備状況については、通信速度で見ると2006年4月時点で51.2Mbpsと世界1位となっており（図2）、また料金についても他国と比べても世界一の安さとなっており、世界最高水準のブロードバンド利用環境を実現していることがわかる。（図3）

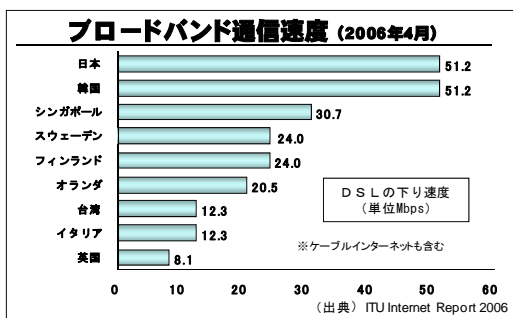


図2：ブロードバンド通信速度

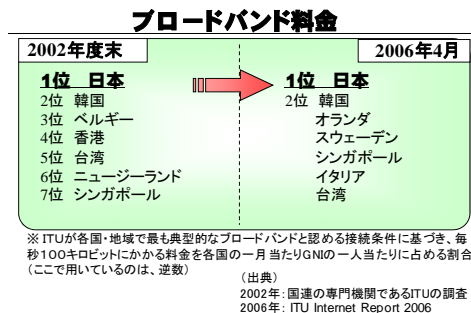


図3：ブロードバンド料金

ブロードバンド世帯カバー率についても、2006年のブロードバンド回線の契約数は2,644万契約に達しており、特にFTTHの利用が急速に拡大している。また全国の総世帯数に占めるブロードバンド利用可能世帯数を示すブロードバンド世帯カバー率を見ると、平成17年度末と比べて平成19年度12月末には、いずれかのブロードバンドについては93.9%から95.8%に増加し、超高速ブロードバンドでは79.7%から85.3%に増加しており、高い水準になっていることがわかる。（図4）

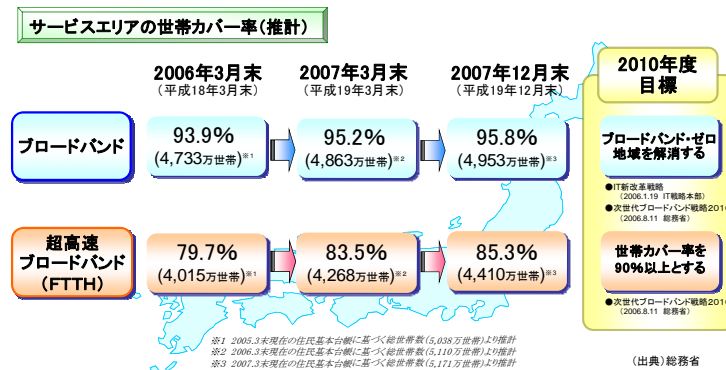


図4：ブロードバンド世帯カバー率達成状況

## 4. 本レポートの目的

本レポートでは、u-Japan 政策の3つの軸のうち、「ユビキタスネットワーク整備」について評価を行う。現在、世界最先端と評価されているブロードバンド利用料金や通信速度であるが、ICTインフラ分野を評価するためには、包括的かつ客観的に評価することが重要である。

このような背景の下、本レポートでは、我が国のICTインフラの現状を国際比較評価することで残された課題を浮き彫りにし、今後の国家のICTインフラ政策に資することを目的とする。

## 第 II 章 評価方法について

### 1. 選定した評価指標

今回の分野の選定にあたっては、前回の評価項目【ICTインフラの質】について、【ICTインフラの高速性】、【ICTインフラの安全性】に分け、より品質について細かく評価した。よって、国際比較に用いる評価指標は、ICTインフラに関係するものとして6分野12項目を選定した。【ICTインフラの利用料金】、【ICTインフラの高速性】、【ICTインフラの安全性】、【ICTインフラのモバイル度】、【ICTインフラの普及度】、【ICTインフラの社会基盤性】の6分野を選定した。また、項目については各分野につき以下のとおり2項目を設定した。

#### (1) ICTインフラの利用料金

ICTインフラが広く普及するためには、低廉な料金で利用できる環境が提供されていることが重要な要素のひとつである。そこで、ICTインフラの利用料金を、

「① 電話基本料金」及び「② ブロードバンド料金」の2項目から評価する。

#### (2) ICTインフラの高速性

利用者がICTを快適に利用するためには、ストレスなく利用できること、すなわち高速、広帯域であることが重要である。そこで、ICTインフラの高速性を、

「③ 光ファイバー比率」及び「④ ブロードバンド速度」の2項目から評価する。

#### (3) ICTインフラの安全性

利用者がICTを安心して利用するためには、高品質であることが重要である。そこで、ICTインフラの安全性を、

「⑤ 安全なサーバ数」及び「⑥ Bot感染PC台数」の2項目から評価する。

#### (4) ICTインフラのモバイル度

利用者がICTを「いつでも、どこでも、誰でも」利用できる環境を実現することが重要であり、ネットワークのユビキタス化、特にモバイル化が進展している。そこで、ICTインフラのモバイル度を、

「⑦ 3G携帯比率」及び「⑧ 携帯電話普及率」の2項目から評価する。

#### (5) ICTインフラの普及度

利用者がICTの恩恵を享受するためには、ICTインフラが利用できること、すなわち普及していることが大前提である。そこで、ICTインフラの普及度を、

「⑨ インターネット普及率」及び「⑩ブロードバンド普及率」の2項目から評価する。

## (6) ICTインフラの社会基盤性

ICTインフラは今や社会資本の一部である。他のインフラと比べICTインフラがどれだけ重要視されているのかも、今後のICTインフラの発展に大きく作用する。そこで、ICTインフラの社会基盤性を、

「⑪ インターネットホスト数」及び「⑫ ICT投資割合」の2項目から評価する。

以上の関係を図にしたものが図5である。

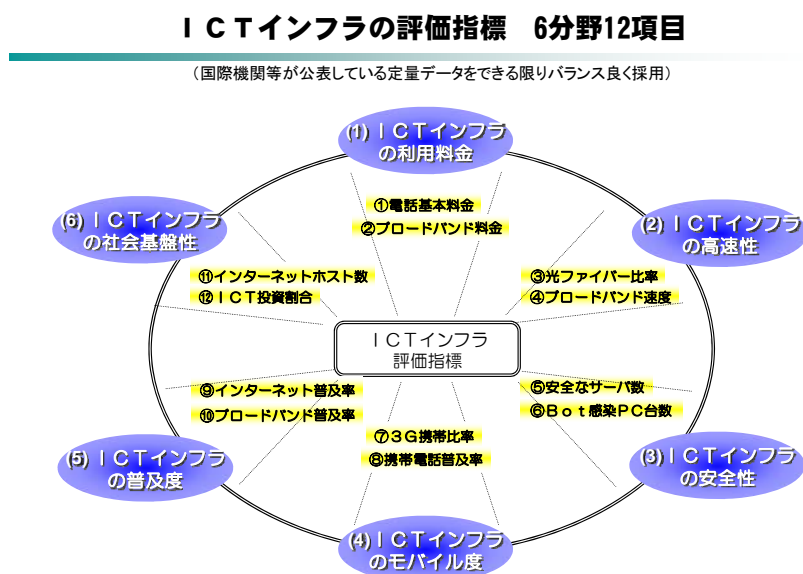


図5：ICTインフラの評価指標

なお、評価に使用するデータについては、中立性を保つため、国際機関や組織の公表している定量データを用いる。

## 2. 評価対象の選定

評価対象は、地域バランス、データの有無等を考慮し、

アジア：日本、韓国、中国、シンガポール、台湾、香港

オセアニア：オーストラリア、ニュージーランド

北米：アメリカ、カナダ

北欧：フィンランド、オランダ、デンマーク、スウェーデン

ヨーロッパ：スイス、フランス、ポルトガル、イギリス、ドイツ、  
スペイン、ベルギー、イタリア、オーストリア

の計23カ国・地域を選定した。

### 3. 評価手法について

本レポートにおける評価手法を以下に示す。

#### <各指標の偏差値平均による国際ランキング>

各国・地域において、各指標のデータを偏差値化<sup>1</sup>し、ICTインフラが相対的にどれほど整備されているかを測る総合評価として、各指標での偏差値の平均値により国際ランキングをおこなう。

#### <各国・地域の偏差値データのレーダーチャート化>

各国・地域の偏差値データを、レーダーチャートに図示する。レーダーチャートの面積が大きい方が、よりICTインフラが整えられているものと考えられる。

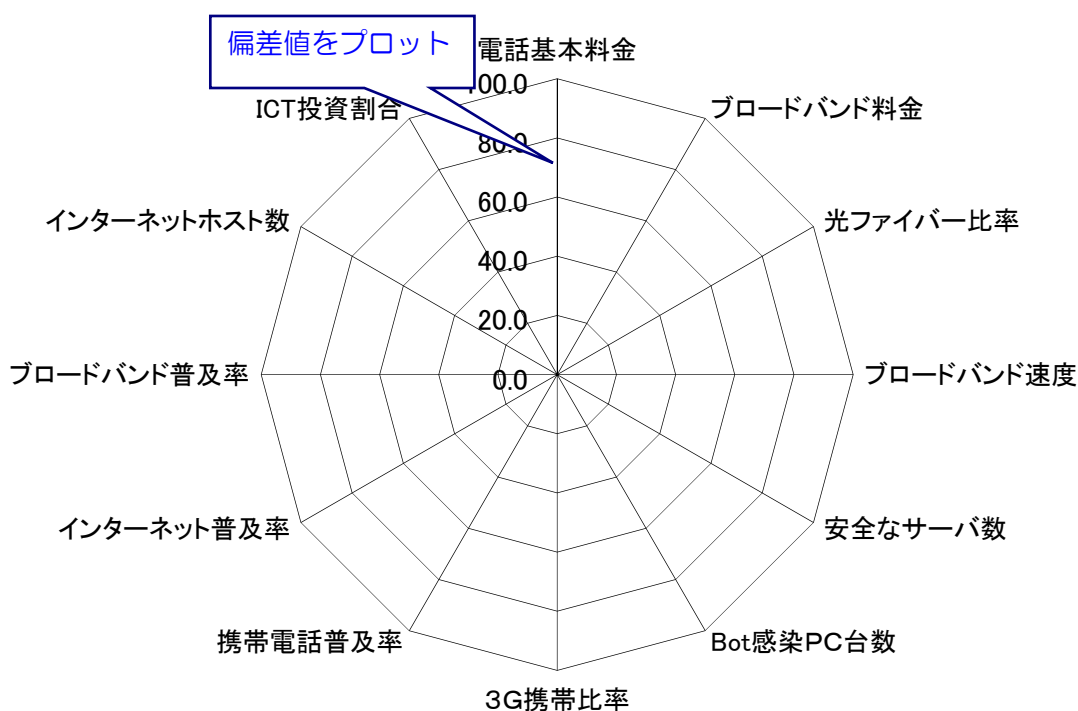


図6：評価に用いたレーダーチャート

<sup>1</sup> 偏差値を求めるために、

$$(\text{偏差値}) = \{ (\text{各国の値}) - (\text{平均値}) \} / \text{標準偏差} \times 10 + 50$$

という式を用いた。ただし、値が小さい方が、よりインフラが整えられていると考えられる指標（電話基本料金、ブロードバンド料金）に関しては、各国・地域の値の逆数を用いた。



### 第 III 章 評価結果について

本章では、第 II 章で示した評価方法により評価結果を導き、日本の ICT インフラの現状について考察する。

23 カ国・地域の ICT インフラに関する国際ランキングを表 1、図 7 に示す。<sup>2</sup>

日本は、23 カ国・地域中 第 1 位であった。各国の数値を見ると、日本、韓国の数値が突出しており、前回調査時と比較し、さらに他国との差が大きくなる結果となった。また、日本と韓国の差はかなり縮まっており、急迫されている。

また上位 10 カ国についても、アジア、北欧がほとんどを占めており、ICT インフラの整備について、地域による差が鮮明になった。

ランキング	国・地域名	偏差値平均	ランキング	国・地域名	偏差値平均
1	日本	60.2	13	スイス	49.3
2	韓国	59.8	14	イタリア	48.6
3	フィンランド	54.6	15	オーストリア	48.3
4	スウェーデン	53.7	16	カナダ	47.5
5	オランダ	53.7	17	ニュージーランド	47.4
6	香港	52.6	18	ベルギー	46.2
7	シンガポール	52.4	19	ドイツ	45.4
8	台湾	52.1	20	ポルトガル	45.4
9	米国	51.9	21	フランス	45.3
10	デンマーク	51.3	22	スペイン	44.1
11	オーストラリア	49.9	23	中国	40.7
12	イギリス	49.8			

表 1 : ICT インフラに関する国際ランキング

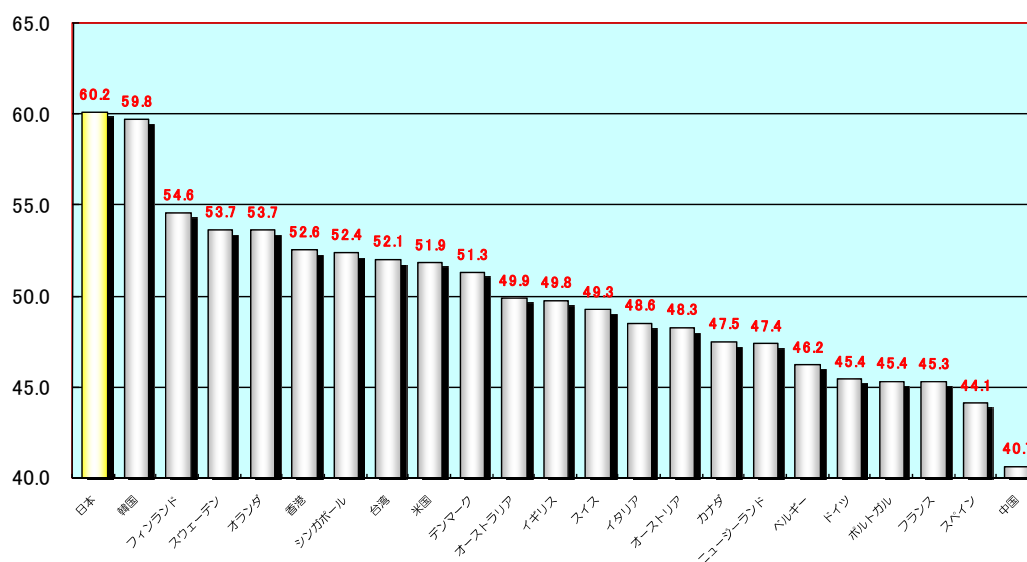
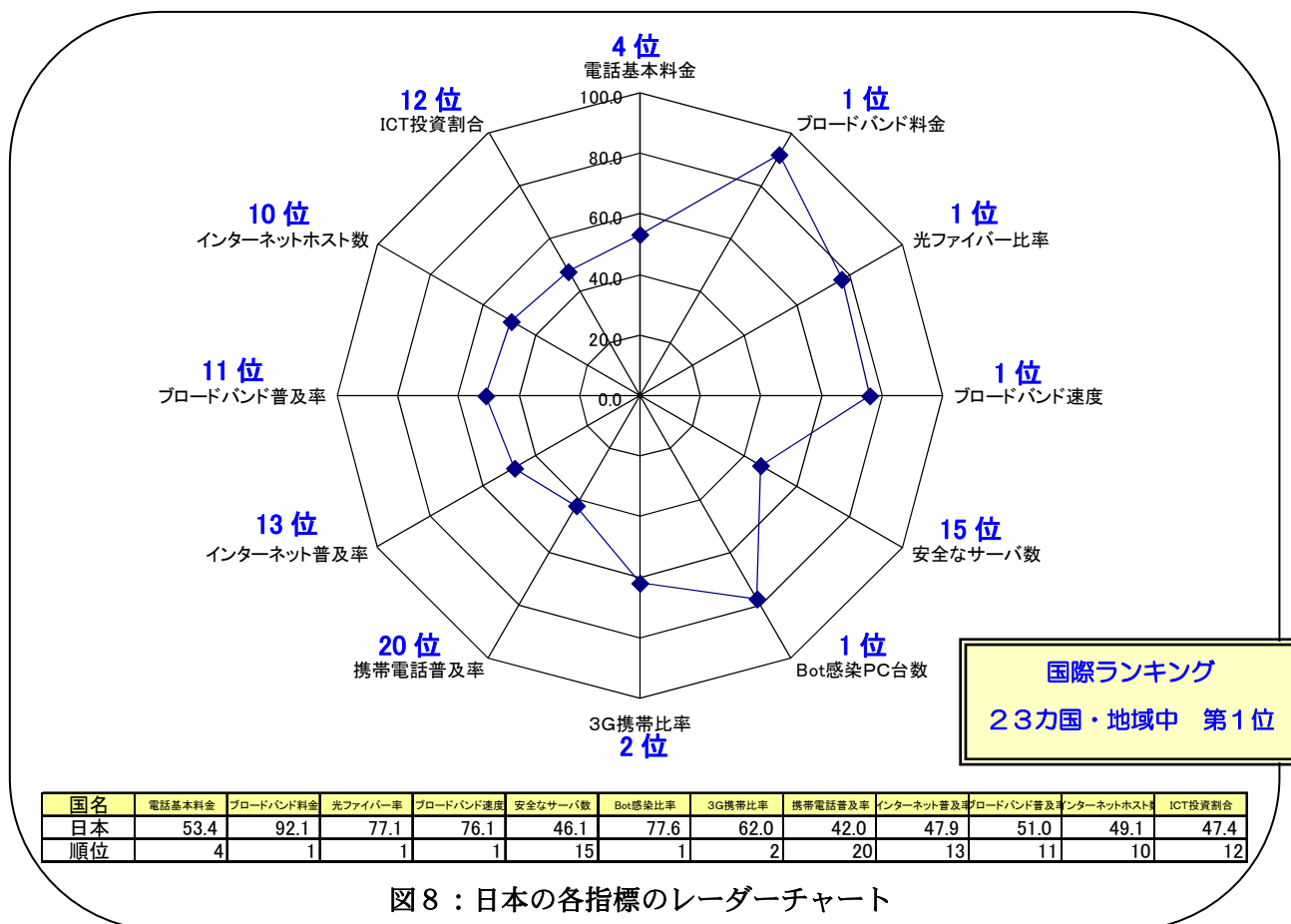


図 7 : ICT インフラに関する国際ランキング

<sup>2</sup> 本レポートにおける評価は今回選定した指標によるものであり、指標の選び方によっては評価が変わる可能性がある。

# 1. 日本の各指標の評価について

日本の各指標について、偏差値データ及び23カ国・地域内での順位を図8に示す。



前述の通り、日本は国際ランキングで第1位であり、ICTインフラの(1)利用料金、(2)高速性、(3)安全性では、世界最先端レベルの指標が存在する。

特に、ブロードバンド速度、ブロードバンド料金、光ファイバー比率が第1位であり、速さ、安さの面が突出して良く整備されている。

また、安全性については、安全なサーバ数は15位と低迷し課題は残っているが、新しい評価項目であるBot感染PC台数は1位と健闘している。

一方、ICTインフラの(5)普及率、(6)社会基盤性は全般的に低調な結果となった。

普及率は、携帯電話、インターネット、ブロードバンドのいずれも低調であり、普及率の向上が重要である。今後は、「u-Japan 政策」や「次世代ブロードバンド構想2010」に基づくユビキタスネットワークの整備が必要である

また、日本のICTインフラは地域間格差が課題となっていることから(図9)、デジタル・デバイド解消へ向け、早急な取り組みが必要である。

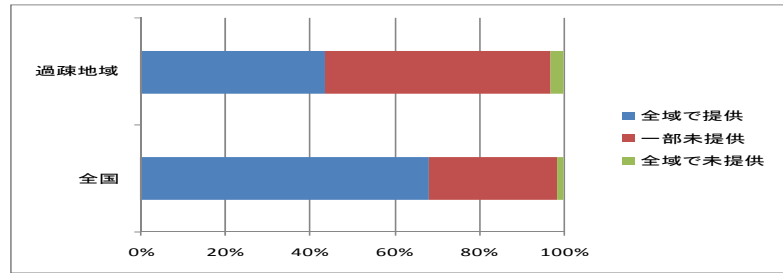


図9：ブロードバンドサービスの普及状況

社会基盤性についても、インターネットホスト数が10位、ICT投資割合が12位と低調であった。世界経済フォーラムの報告書においても、政府のICTに対する優先度、政府の将来ビジョンにおけるICTの重要性について結果が報告されている(図10、図11)。

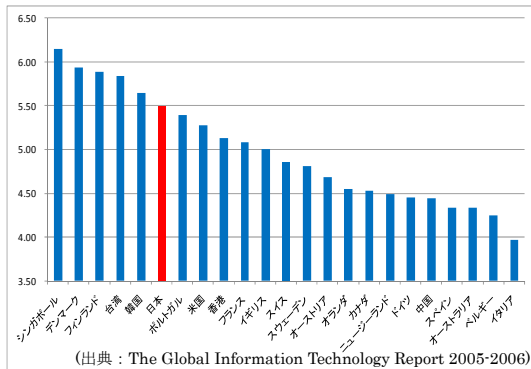


図10：政府におけるICTに対する優先度

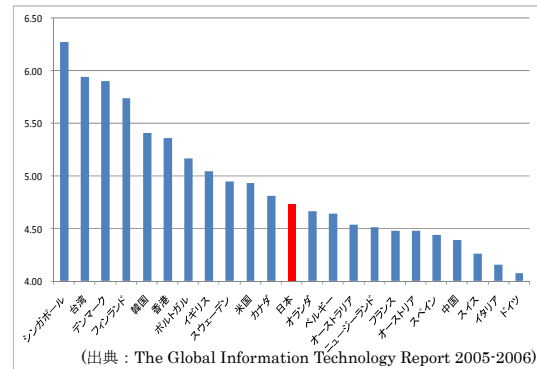


図11：政府の将来ビジョンにおけるICTの重要性

この結果を見てもわかるように、日本より上位の国々は、今回の総合ランキングにおいても上位の国々である。現在日本は早くからのICTへの取組みの成果として、世界最先端というべきICTインフラを構築したが、他のICT先進諸国においては、更なるICTへの取組強化が想定される。これからも世界最先端であり続けるためには、社会基盤としての優先度の向上を図るべく、ICTインフラを社会資本として重視し、情報化の進展を踏まえた社会資本整備や資源配分の見直しに取り組むことが必要である。

## 2. 国際ランキング上位5カ国について

ここでは、国際ランキング上位5カ国内の特徴を記述する。上位5カ国は、1位：日本、2位：韓国、3位：フィンランド、4位：スウェーデン、5位：オランダである。

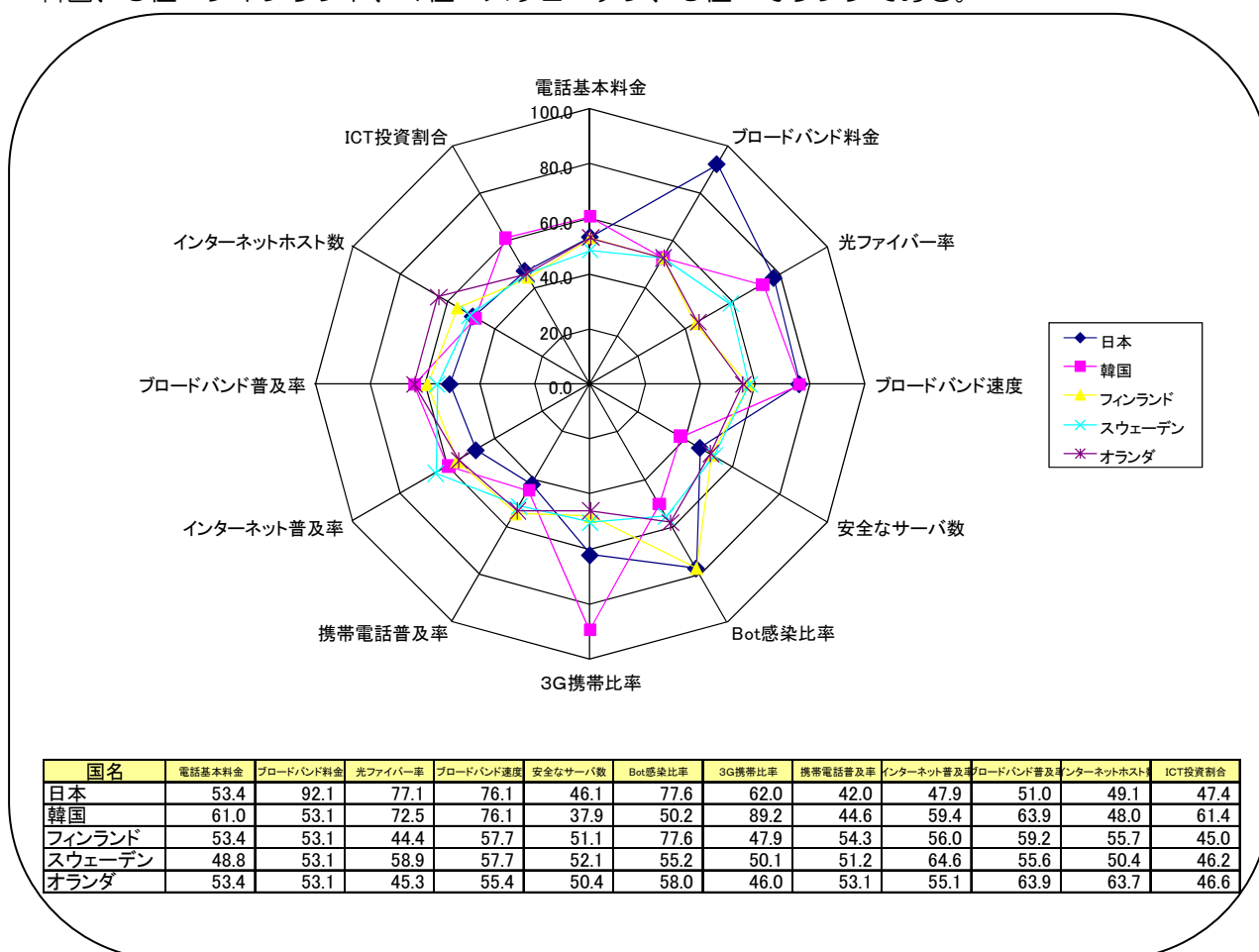


図12：国際ランキング上位5カ国のレーダーチャート

上位5カ国それぞれのレーダーチャートの特徴は以下のとおり。

韓国はブロードバンド速度、3G携帯比率、ブロードバンド普及率で第1位。フィンランドはBot感染PC台数で第1位、ブロードバンド料金で第2位。スウェーデンはブロードバンド料金、インターネット普及率で第2位。オランダはブロードバンド普及率で第1位、ブロードバンド料金、インターネットホスト数で第2位。上位5カ国とも世界最先端レベルの成果を上げており、特徴は国によって異なる。

## 第 IV 章 総評と今後の課題

### < 総評 >

総合評価では、日本は国際ランキングで全23カ国・地域中第1位であり、「速さ」、「安さ」だけでなく、客観的な視点を取り入れた指標を用いても、世界最高水準にあることがわかった。

しかし、一方で、各指標別にみると、ICTインフラの「普及度」、「社会基盤性」等では、改善の余地が残されている。

今後の課題としては、

- ◇ 普及率の向上が重要であるため、「u-Japan 政策」や「次世代ブロードバンド構想2010」に基づくユビキタスネットワークの整備が必要であり、また、日本のICTインフラでは地域間格差が課題となっているため、デジタル・ディバイド解消へ向けた早急な取り組みが必要。
- ◇ 日本のICTインフラは、普及率の面で社会基盤としての優先度の向上がまだまだ不十分であるため、これからも世界最先端であり続けるためには、社会基盤としての優先度の向上を図るべく、ICTインフラを社会資本として重視し、将来の情報化の進展を踏まえた社会資本整備や資源配分の見直しに取り組むことが必要。

が挙げられる。

「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」ネットワークに簡単につながるユビキタスネット社会を実現するため、上記の課題を踏まえた上で u-Japan 政策の目標の着実な達成及び今後のICT政策の推進に努めていく必要がある。

## ● 各指標の説明

### ① 電話基本料金

(出典) WORLD ECONOMIC FORUM 「The Global Information Technology Report 2005-2006」

Residential monthly telephone subscription, 2003

(説明) 一ヶ月の電話基本料金を一人当たりGDPで割ったもの。

(ここで指標として用いているのは、この逆数。)

### ② ブロードバンド料金

(出典) ITU 「Internet Report 2006」

Fixed Broadband Prices; Lowest sampled cost; as a % of monthly income (GNI), 2006

(説明) ITUが各国・地域で最も典型的なブロードバンドと認める接続条件に基づき、毎秒100キロビットにかかる料金を各国の一月当たりGNIの一人当たりにも占める割合。

(ここで指標として用いているのは、この逆数。)

※ブロードバンド：DSL、CATVインターネット、FTTH

### ③ 光ファイバー比率

(出典)・OECD 「Broadband statistics」

Percentage of fiber connections in total broadband(June 2007)

・FTTH council report 「World Three FTTH Councils Join Together to Issue First Official Global Ranking of FTTH Market Penetration」 (July 2007)

(説明) OECDに加盟する各国のブロードバンド加入者全体にも占める光ファイバー加入者比率。

なお、中国、シンガポール、台湾、香港については、FTTH Councilによる報告書に基づく設計値を使用。

### ④ ブロードバンド速度

(出典) ITU 「Internet Report 2006」

Fixed Broadband Prices; Higher speed; Speed (kbit/s), 2006

(説明) ITUが各国・地域で最も典型的なブロードバンドと認める接続条件における、下りのハイスピード。

### ⑤ 安全なサーバ数

(出典) WORLD ECONOMIC FORUM 「The Global Information Technology Report 2005-2006」

Secure Internet servers, 2004

(説明) 100万人当たりの安全なインターネットサーバ数※。

※暗号化通信をブラウザとの間で行えるサーバのことを指す。

## ⑥ Bot 感染PC台数

(出典)・OECD「Broadband statistics」

Bot-infected computers per 100 broadband subscribers December 2006

・Symantec「APJ Internet Security Threat Report ;Trends for January-June 07」

(説明) ブロードバンド加入者100人当たりのボット感染PC台数\*。

なお、シンガポール、香港についてはトレンドマイクロ社による資料に基づく設計値を使用。

(ここで指標として用いているのは、この逆数。)

\*コンピュータをリモートコントロールできる攻撃プログラム。

## ⑦ 3G携帯比率

(出典) informa「Global Mobile」

(説明) 携帯電話100台当たりの3G携帯電話比率。

## ⑧ 携帯電話普及率

(出典) ITU「Internet Report 2006」

Cellular mobile subscribers; Per 100 inhabitants, 2005

(説明) 100人当たりの携帯電話加入者数。

## ⑨ インターネット普及率

(出典) ITU「Internet Report 2006」

Internet;Users per 100 inhab. 2005

(説明) 100人当たりのインターネットユーザー数。なお、パソコンによるユーザーのみの推測値であり、携帯電話等からのユーザー数は含まれていない。

## ⑩ ブロードバンド普及率

(出典) ITU「Internet Report 2006」

Fixed broadband subscribers;Total broadband subscribers; Per 100 inhabitants 2005

(説明) 100人当たりのブロードバンド加入者数。

## ⑪ インターネットホスト数

(出典) ITU「World information Society Report 2007」

Information technology; Internet; Hosts per 10,000 capita 2004.

(説明) 1万人当たりのインターネットホスト数。

## ⑫ ICT投資割合

(出典) IMD「WORLD COMPETITIVENESS YEAEBOOK 2006」

INVESTMENT IN TELECOMMUNICATIONS 2004

(説明) 各国・地域のICTに関する公的投資及び私企業の投資のGDPに占める割合(パーセント表示)。

● 各国・地域データ一覧

参考資料2

国・地域名	電話基本料金	ブロードバンド料金	光ファイバー比率	ブロードバンド速度	安全なサーバ数	Bot感染PC台数	3G携帯比率	携帯電話普及率	インターネット普及率	ブロードバンド普及率	インターネットホスト数	ICT投資割合
日本	25.00	500.00	36.00	51200	160.18	3.33	40.11	73.97	50.20	17.50	1286.80	0.450
韓国	33.33	100.00	31.00	51200	18.57	1.00	95.45	79.39	68.35	25.20	1130.06	0.800
中国	2.50	0.75	12.00	1024	0.23	0.31	0	29.90	8.44	2.85	1.24	1.370
シンガポール	50.00	100.00	1.00	30720	226.04	0.38	14.05	103.41	57.87	15.30	1202.15	0.400
台湾	50.00	33.33	2.00	12288	199.70	0.30	3.65	97.37	58.01	20.10	1389.65	0.770
イタリア	20.00	100.00	3.00	12288	34.64	0.63	22.85	124.28	48.03	11.70	282.03	0.510
カナダ	20.00	25.00	0.00	4096	484.04	0.67	0	51.44	63.01	20.80	1110.18	0.310
オーストリア	16.67	8.33	0.00	2048	195.32	1.25	38.15	99.82	48.93	14.40	1565.75	0.310
オランダ	25.00	100.00	1.00	20480	232.55	1.67	7.5	97.15	61.63	25.20	3334.42	0.430
フィンランド	25.00	100.00	0.00	24000	245.79	3.33	11.44	99.66	63.00	22.40	2215.16	0.390
スイス	20.00	25.00	0.00	600	382.25	0.77	14.6	91.77	49.59	23.10	1026.68	0.480
オーストラリア	20.00	6.67	0.00	1544	408.75	0.59	15.96	91.39	70.40	10.40	1978.27	0.730
フランス	20.00	100.00	0.00	10240	64.26	0.34	10.08	79.44	43.23	15.60	386.48	0.270
米国	14.29	100.00	2.00	4096	674.93	0.67	0.14	67.62	63.00	16.60	6645.16	0.230
ニュージーランド	8.33	8.33	0.00	2048	426.85	0.91	5.26	87.61	79.42	8.20	1473.14	0.330
ポルトガル	10.00	12.50	0.00	8128	43.87	0.27	18.77	109.09	29.30	11.50	552.35	0.710
イギリス	20.00	50.00	0.00	8128	354.05	0.50	10.83	102.16	63.27	16.00	697.90	0.630
香港	16.67	25.00	28.00	6144	140.88	1.25	14.94	123.47	50.08	23.60	1132.74	0.600
ドイツ	20.00	50.00	0.00	6016	167.58	0.38	6.99	95.78	45.35	12.90	366.19	0.260
スペイン	16.67	3.70	0.00	1024	68.71	0.21	7.55	96.81	35.41	11.70	217.46	0.550
ベルギー	16.67	20.00	0.00	4096	90.87	1.00	1.33	90.80	46.07	19.10	232.50	0.490
デンマーク	20.00	10.00	9.00	2048	319.26	1.43	5.58	100.71	52.55	24.90	2681.94	0.390
スウェーデン	20.00	100.00	16.00	24000	261.85	1.43	15.88	93.31	76.52	20.30	1466.67	0.420



● 各国・地域の偏差値データ一覧

国・地域名	電話基本料金	ブロードバンド料金	光ファイバー比率	ブロードバンド速度	安全なサーバ数	Bot感染PC台数	3G携帯比率	携帯電話普及率	インターネット普及率	ブロードバンド普及率	インターネットホスト数	ICT投資割合	偏差値の平均
日本	53.4	92.1	77.1	76.1	46.1	77.6	62.0	42.0	47.9	51.0	49.1	47.4	60.15
韓国	61.0	53.1	72.5	76.1	37.9	50.2	89.2	44.6	59.4	63.9	48.0	61.4	59.77
中国	32.8	43.4	55.3	42.3	36.8	42.1	42.3	20.8	21.3	26.4	40.0	84.2	40.65
シンガポール	76.2	53.1	45.3	62.3	50.0	43.0	49.2	56.1	52.7	47.3	48.5	45.4	52.43
台湾	76.2	46.6	46.3	49.9	48.5	42.0	44.1	53.2	52.8	55.3	49.9	60.2	52.07
イタリア	48.8	53.1	47.2	49.9	38.8	45.8	53.5	66.1	46.5	41.2	42.0	49.8	48.55
カナダ	48.8	45.7	44.4	44.3	65.1	46.3	42.3	31.2	56.0	56.5	47.9	41.8	47.53
オーストリア	45.8	44.1	44.4	43.0	48.2	53.1	61.0	54.4	47.1	45.8	51.1	41.8	48.31
オランダ	53.4	53.1	45.3	55.4	50.4	58.0	46.0	53.1	55.1	63.9	63.7	46.6	53.66
フィンランド	53.4	53.1	44.4	57.7	51.1	77.6	47.9	54.3	56.0	59.2	55.7	45.0	54.62
スイス	48.8	45.7	44.4	42.0	59.1	47.5	49.5	50.5	47.5	60.3	47.3	48.6	49.27
オーストラリア	48.8	43.9	44.4	42.6	60.7	45.4	50.1	50.3	60.7	39.1	54.1	58.6	49.90
フランス	48.8	53.1	44.4	48.5	40.5	42.5	47.2	44.6	43.4	47.8	42.7	40.2	45.32
米国	43.6	53.1	46.3	44.3	76.3	46.3	42.4	38.9	56.0	49.4	87.2	38.6	51.86
ニュージーランド	38.1	44.1	44.4	43.0	61.7	49.1	44.9	48.5	66.5	35.4	50.5	42.6	47.40
ポルトガル	39.7	44.5	44.4	47.1	39.3	41.6	51.5	58.8	34.6	40.9	43.9	57.8	45.35
イギリス	48.8	48.2	44.4	47.1	57.5	44.3	47.6	55.5	56.2	48.4	45.0	54.6	49.80
香港	45.8	45.7	69.8	45.7	45.0	53.1	49.6	65.7	47.8	61.2	48.0	53.4	52.58
ドイツ	48.8	48.2	44.4	45.6	46.6	43.0	45.7	52.4	44.8	43.3	42.6	39.8	45.43
スペイン	45.8	43.7	44.4	42.3	40.8	40.9	46.0	52.9	38.5	41.2	41.5	51.4	44.12
ベルギー	45.8	45.2	44.4	44.3	42.1	50.2	42.9	50.0	45.2	53.6	41.7	49.0	46.22
デンマーク	48.8	44.3	52.6	43.0	55.4	55.2	45.0	54.8	49.4	63.4	59.0	45.0	51.33
スウェーデン	48.8	53.1	58.9	57.7	52.1	55.2	50.1	51.2	64.6	55.6	50.4	46.2	53.68